安全データシート(閲覧用)

整理番号： 48621-1027E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ユニソルブル　ＣＳ

１．化学物質等及び会社情報

製品名： ユニソルブル　ＣＳ
会社名： JX日鉱日石エネルギー株式会社
住所： 〒１００－８１６２　東京都千代田区大手町二丁目６番３号
担当部門： 添付資料参照
(TEL:添付資料参照,FAX:添付資料参照)
緊急連絡電話番号： 添付資料参照

２．危険有害性の要約

GHS分類	区分
急性毒性(経口)	区分4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
皮膚感作性	区分1
発がん性	区分2
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2
水生環境有害性(急性)	区分3
水生環境有害性(長期間)	区分3

GHSラベル要素

絵表示：

注意喚起語： 危険

危険有害性情報：
飲み込むと有害
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器(肝臓)の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肝臓,血液,神経系,腎臓,精巣,造血系,中枢神経系)の障害のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き： 安全対策
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
眼に入れないこと。飲み込まないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 48621-1027E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ユニソルブル　ＣＳ

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
環境への放出を避けること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
保管 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。
施錠して保管すること。
廃棄 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。
不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
成分及び含有量

成分名称	含有量 wt.%	CAS#	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示番号	官報公示番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
トリエタノールアミン	10-20	---	既存	既存	安衛法通知物質-381	非該当	非該当
ジエタノールアミン	1-10	---	既存	既存	安衛法通知物質-219	非該当	非該当

４．応急措置

吸入した場合： 新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、異常があれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 触れた部分を水またはぬるま湯でよく洗い流す。外観に変化があるか、痛みが続く場合は、医師の診断を受ける。

眼に入った場合： 清浄な水で数分間注意深く洗う。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 48621-1027E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ユニソルブル　ＣＳ

飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。 口の中が汚染されている場合は、水で十分洗う。

５．火災時の措置

消火剤：	炭酸ガス、泡、粉末消火剤が有効である。
使ってはならない消火剤：	情報なし
特有の危険有害性：	現在のところ有用な情報なし。
特有の消火方法：	火元への燃焼源を絶つ。 周囲の設備等に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	作業の際には、保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	全ての着火源を取り除き、漏洩箇所の漏れを止める。 危険地域より人を退避させる。危険地域の周辺には、ロープを張り、人の立入りを禁止する。 少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。 大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、出来るだけ空容器に回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：	熱、火花、炎、高温体等との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。禁煙。 皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は保護具を着用する。 取り扱いは通気の良い所で行い、呼吸用保護具を使用する等してミストまたは蒸気を吸入しないようにする。 火花、炎、高温体等との接触を避ける。
局所排気・全体換気：	室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行う。
注意事項：	火気注意
安全取扱注意事項：	取扱い後はよく手を洗うこと。 容器を開ける時は、手を切る恐れがあるので、保護手袋を着用する。 強酸化剤との接触を避ける。

保管

安全な保管条件：	酸化性物質、有機過酸化物などと同一場所に保管してはならない。 密閉した金属容器に入れ、0～40℃の直射日光、降雨の当たらない場所に、火気、熱源より遠ざけて保管する。 ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。 保管場所に施錠して保管することが望ましい。

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 48621-1027E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ユニソルブル　ＣＳ

安全な容器包装材料： 情報なし

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策： 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
全体換気または局所排気装置を設置する。

許容濃度

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH		
	管理濃度	許容濃度	TLV-C	TLV-STEL	TLV-TWA
トリエタノールアミン	未設定ppm,未設定mg/m3	未設定ppm,未設定mg/m3	未設定ppm,未設定mg/m3	未設定ppm,未設定mg/m3	未設定ppm,5mg/m3(Triethanolami
ジエタノールアミン	未設定ppm,未設定mg/m3	未設定ppm,未設定mg/m3	未設定ppm,未設定mg/m3	未設定ppm,未設定mg/m3	未設定ppm,1mg/m3(Diethanolamin

保護具
- 呼吸用保護具： 通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。
- 手の保護具： 長期又は繰り返し接触する場合は耐油性のものを着用する。
- 眼の保護具： 飛沫が飛ぶ場合にはゴーグル型眼鏡または防災面を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具： 長期間にわたり取扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。

適切な衛生対策： 濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。
取扱い後はよく手を洗うこと。

９．物理的及び化学的性質

製品
- 外観　物理的状態： 液体
- 形状： 液体
- 色： 黄色
- 臭い： 弱いアミン臭
- pH： 9.4(×30)
- 融点・凝固点： ≦0(℃)
- 沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
- 引火点： 無し
- 燃焼の又は爆発範囲： 爆発限界　推定値1－7(%)
- 蒸気圧： データなし
- 蒸気密度： データなし
- 密度(g/cm3)： 1.07(15℃)
- 溶解度： 水：可溶

n-オクタノール／水分配係数：	データなし
分解温度：	データなし

１０． 安定性及び反応性

化学的反応性、化学的安定性：	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性：	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件：	混触危険物質との接触。
混触危険物質：	強酸化剤
危険有害な分解生成物：	燃焼の際は、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物など有毒で腐食性のガスを生じる可能性がある。

１１． 有害性情報

製品

急性毒性（経口）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性（経皮）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性（吸入）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
呼吸器感作性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚感作性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖細胞変異原性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
発がん性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖毒性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性、単回ばく露：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性、反復ばく露：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
吸引性呼吸器有害性：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。

１２． 環境影響情報

製品

生態毒性

急性毒性（魚類）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。

安全データシート(閲覧用)

整理番号： 48621-1027E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ユニソルブル　ＣＳ

慢性毒性（魚類）：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
残留性・分解性：	現在のところ有用な情報なし。
生体蓄積性：	現在のところ有用な情報なし。
土壌中の移動性：	現在のところ有用な情報なし。

１３．廃棄上の注意

廃棄方法： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。
事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
投棄禁止。
埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。

燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人をつける。
廃容器に圧力をかけると破裂することがある。廃容器は溶接、加工、穴あけ、または切断を行うと、爆発を伴って残留物が飛散することがあるので注意する。

１４．輸送上の注意

IMDG分類　国連分類：	非該当
国内規制：	陸上輸送　消防法　非危険物 海上輸送　船舶安全法　非危険物（個別運送及びバラ積み運送に於いて） 航空輸送　航空法　非危険物
輸送の特定の安全対策及び条件：	容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。

１５．適用法令

安衛法：	名称等を通知すべき有害物
廃掃法：	産業廃棄物規則

１６．その他の情報

参考文献等：

許容濃度等の勧告(2010)日本産業衛生学会 産業衛生学会誌
米国産業衛生専門家会議(ACGIH) “TLVs and BELs 2010” (2010)
IARC Monographs Programme on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans (2006)
EC理事会指令「67/548/EEC」の付属書Ⅰ「危険な物質リスト」
日本規格協会(JIS) JIS Z 7250：2005 「化学物質等安全データシート（MSDS）」
同上 JIS Z 7251：:2006 「GHSに基づく化学物質等の表示」

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 48621-1027E51
作成： 2010/07/01
改訂： 2015/02/02

製品名： ユニソルブル　ＣＳ

免責文： 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者に提供されるものです。
取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。